

## 平成28年度第1回羽幌町港湾審議会議事録

- 1 日時 平成28年4月27日(水) 午前14時00分～14時50分
- 2 場所 羽幌町役場幹部会議室
- 3 出席者 委員:今 隆(委員長)、江野英嗣(職務代理者)、宮崎尚武、蝦名 修、野宮晃廣  
顧問:留萌海上保安部次長(部長代理)、留萌海上保安部交通課安全係長(部長代理)、留萌開発建設部築港課長、留萌港湾事務所長、留萌建設管理部羽幌出張所長  
町 :羽幌町長、建設課長、同管理係長、同主事

### 4 審議会

#### (1) 町長挨拶

本日は、第1回目ということで、港湾審議会に委員としてご就任頂いていることに感謝を申し上げます。審議会の委員の皆様の忌憚ないご意見ご審議をお願いします。

#### (2) 顧問紹介

人事異動により留萌海上保安部長 池上 克浩 氏に顧問を委嘱する。

#### (3) 委員長挨拶

忌憚ないご意見をお願いします。

### 5 議事 進行:委員長

#### (1) 羽幌港変更港形(案)について(事務局より説明)

平成27年度羽幌港港湾関係者会議を開催し、フェリー岸壁静穏度の対策港形について議論し、平成28年3月31日の第5回会議をもって港形案を決定した。

##### 【1】外郭施設の追加

①防波堤(波除)として、岸壁(-5.0m)法線直角方向で50m延伸する。

但し、岸壁(-5.0m)延長に影響を与えない位置とする。

②防波堤(波除)として、内港防波堤を法線方向内側60度で20m延伸する。

③防波堤(波除)として、西防波堤の突堤を延長方向に10m延伸する。

合わせて防波堤(波除)120mを延伸する港形を位置付けるものとする。

##### 【2】変更港形(案)の配慮

・まず、静穏度効果の高い①に着手し完了させ、次に②を整備し、①と②の整備効果を検証した上で、③に着手するか判断する。

#### ・質疑応答

■質問:50m延伸の具体的な時期は。

□回答：今回の審議会です承された上で直轄プロジェクトに盛り込むことになるが、事業評価を行い、平成28年度事業計画を変更して秋頃に着手したい。平成29年度に完成するよう予算要求していきたいと考えている。

■質問：内港防波堤20m延伸の具体的な時期は。

□回答：50mとセットで整備していくが、50mが整備完了次第着手する予定なので早くて平成30年度を予定している。

■質問：西防波堤10m延伸はそのあとに着手か。

□回答：そのとおりです。羽幌沿海フェリー(株)と整備効果を検証してから延伸の可否について利用関係者と検討したい。

■質問：50mの延伸効果を見てから20m延伸を着手するのか。それとも別々で整備することを考えているのか。

□回答：あくまで50mと20m延伸はセットで整備することを考えている。一番静穏度効果のある50mから整備を進めたい。

他に質問なく（案）どおり承認

## （2）平成29年度羽幌港要求施設(案)について

別途、図面のとおり港町地区の防波堤(波除)継続1式、船揚場(南)の完了、フェリー岸壁の防波堤(波除)1式着工について要求いたします。

他に質問なく（案）どおり承認

## （3）その他

■質問：防風柵、水遊び場の消波化の整備に係る具体的なスケジュールは。

□回答：防風柵については、フェリーターミナルと防風柵の間が空いており、そこから突風がきてフェリーに動揺を与えていると合同会議では把握している。南西の風による影響と考えます。今のところ具体的なスケジュールはないが、検討課題として把握している。

■質問：水遊び場の消波化は事業として位置づけられないのか。

□回答：水遊び場の消波化については、内港防波堤20m延伸時に先端部に巻いている消波ブロックが発生する。そのブロックの仮置場として位置づけたいと考えている。現地の配慮事項として取り扱いたい。

■質問：了解した。

■質問：50mの防波堤が整備されると、福寿川から流入する土砂によって岸壁前面が浅くなる可能性がある。浅くなった場合は対応は可能か。

□回答：維持管理は港湾管理者となる。現在、羽幌港では河川や沿岸漂砂による港湾施設の影響を把握するため、2年に1回深浅測量を実施しているので、その測量結果を提供することは可能である。

■質問：了解した。

■質問：福寿川に投雪するとフェリー航行に影響が出ることもあるが、今後はどのように対応していくのか。

□回答：投雪はしないように指導しているが、降雪量の多少により捨てることもあるので情報提供しながら対応していきたい。

□意見：小樽市では港湾管理者が一部認めている事例がある。原則として船舶の活動に支障のないよう投雪場所をフェンスで囲い流出しないようにしている。

□意見：函館市ではあまり雪は降らないが、降った時は港に捨てていた。降雪量が多い時は連絡を取り合っただけでやることもある。

□意見：極力河川には投雪しない取り組みをお願いしたい。

■説明：平成28年度予算に係る港湾関係事業について説明。

他に質疑なく審議会終了。